

安全運転（7号）



新潟地方交通共済協同組合
(発行) 事故防止対策室

〔運行管理者・運転者の皆様へ〕

○ まもなく梅雨明け

本格的な夏が迫ってきました。昨年の8月に報告のあった事故は58件と、過去5年平均より20件も多く、事故がなかった日は5日のみで、例年より事故が集中した月でした。

事故の一例

追突: 交差点付近で脇見や、前車の発進誤認による追突
構内: オーバーハングにより隣接駐車車両を損傷
バック: 交差点で曲がり切れず、後方不確認のまま後退
構内で、距離の見誤りによりフェンスに接触
被害: 店舗から出てきた車両が側面に衝突してきた。

注意力低下
を防ぐために



上記の例のとおり特別な事故形態はなく、日常的な事故が集中した点が特徴です。要因として暑さによる注意力の低下が一因と考えられます。

○ 漫然運転防止対策

荷積み、荷下ろしなど車内外の気温差により体力は想像以上に消耗します。
十分な睡眠確保のほかに、体力に頼らない事故防止対策として2点推奨します。

呼称運転（声に出す安全確認）

運転中に安全確認や状況判断を声に出して行う運転手法「横断歩道、左右確認」「歩行者なし、進行」
視線停留効果: 確認対象を確実に見ることで、見落としや見間違いを防ぐ
エラー気づき効果: 言葉にすることで誤った判断を防ぐ
確認の徹底: 声を出すことにより、漫然運転や居眠り運転防止に繋がる

交差点等停止時のサイドブレーキ

追突防止のため、交差点など停止時には、サイドブレーキを引く習慣をつけましょう
発進時にサイドブレーキを戻す動作が入るため、漫然と発進することなく、安全確認の時間が確保できます。
停止中にブレーキから足が離れても、意図しない発進を防ぐことができます

○ シニアドライバー講習会の申込開始

シニアドライバー講習会の申込み期間中です。

案内のとおり50歳以上のドライバーを対象としていますが、運行管理者などで「加齢に伴う安全運転上の注意点」について聴講したい方の参加も歓迎いたします。聴講希望の方はドライバーと同じ申込用紙をご提出ください。

○ 作品コンクールの標語、体験記へのご応募ありがとうございました

応募
状況

標語: 927
体験記: 3

今年から標語について一人一作品の制限がありました。
体験記は去年は応募がありませんでしたが、今年は3作品ありました。

○ 「QRコードで安全運行」動画を配信中です

2年目に突入しました。引き続きより多くの方にご視聴いただき、ゆとりある運転や事故防止活動にご活用ください。

※ 当組合では組合員様のもとへ訪問しての講習会を行っております。
ぜひお声掛けください。

連絡先: 新潟地方交通共済協同組合 甲斐・石井・長谷川

電話025-284-9555



※ 上記QRコードを読み込むと、サンプル動画を視聴できます。
ステッカー及び動画の複製は、お断りいたします。

◎事故防止重点「衝突事故の根絶」「よく見る！安全確認の励行」「追突・交差点事故の根絶」「構内・後退事故の根絶」

～ 見られている あなたの運転 その行動 ～ (令和7年度 当組合優秀賞作品)

東北第一物流株式会社 本田 徹 様